令和９年度
予算編成方針及び重点施策等

令和8年11月25日

令和9年度当初予算編成について …… 1
総　　務　　部 …… 2
危 機 管 理 部 …… 3
能登半島地震復旧･復興推進部 …… 5
企 画 振 興 部 …… 7
文化観光スポーツ部 …… 9
健 康 福 祉 部 …… 11
生 活 環 境 部 …… 13
商 工 労 働 部 …… 15
農 林 水 産 部 …… 17
競 馬 事 業 局 …… 20
土　　木　　部 …… 21
警 察 本 部 …… 23
教 育 委 員 会 …… 25

石　川　県

令和９年度当初予算編成について

１　令和９年度の収支見通し

令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨からの復旧・復興にかかる財政需要に加え、職員費や社会保障関係経費、公債費といった義務的経費の増加や物価高への対応、今後計画されている大規模プロジェクトの推進などにより、厳しい状況が見込まれており、大まかな試算では、現時点で約 100 億円の収支不足が生じる見込み

２　令和９年度当初予算の基本的な考え

能登の復旧・復興を最優先としつつ、成長戦略の見直しも見据えながら、新たな課題にも的確に対応するとともに、施策を着実に推進するため、持続可能な財政基盤の確立を進める

３　予算要求基準（シーリング）

（１）一般行政経費

○ 重点施策項目

以下の政策テーマについては、別枠で新規事業（ソフト事業）の提案が可能（要求上限なし）

①令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨からの復旧・復興

②石川県成長戦略の実現に向けた取り組み

・人口減少に歯止めをかける取組
・スマートシュリンクの推進
・地域の強みを生かした飛躍に向けた取組
・ＤＸや官民共創の推進

※上記の個別施策は、新規１事業の要求にあたり１事業以上を廃止（スクラップ・アンド・ビルドの徹底）

○ 要求限度額

裁量的経費　　前年度比△２０％（Ｒ８ 同）　　※削減額：約２億円
経常的経費　　前年度比　＋３％（Ｒ８ ＋２％）

※社会保障関係経費は所要見込額

（２）投資的経費

国の予算編成や地方財政計画を踏まえて計上

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（総務部）

◎予算編成方針

・ 令和６年能登半島地震及び令和６年奥能登豪雨からの復旧・復興を最優先として取り組むとともに、石川県成長戦略の見直しを見据えつつ、新たな課題への的確な対応と施策の着実な推進を図るため、持続可能な財政運営の確立と時代の変化に柔軟に対応できる組織体制の構築に取り組む。

◎重点施策等

Ｒ９の取り組みの方向性

復旧・復興事業に伴う多額の財政需要に加え、義務的経費の増加や物価高への対応、さらには県政の羅針盤である石川県成長戦略を推進するための取り組みも着実に進める必要があることから、これまで以上に、選択と集中による施策・事業の重点化を図り、県政運営の土台となる持続可能な行財政運営の確立に取り組む。

１　令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨への対応

(1) 早期かつ着実な復旧・復興の実現に向けたマンパワーの確保

県による任期付職員の採用や被災市町への職員派遣を継続しながら、国や関係団体に対して、県及び被災市町への安定的な人的支援を要望

(2) 創造的復興リーディングプロジェクトの推進

風化防止に向けた戦略的な情報発信、能登デジタルライフラインの推進　等

２　石川県成長戦略の推進

(1) 県民参加を促進する広報・広聴活動等の推進

新聞、テレビ、ラジオ、広報誌、ＳＮＳ等による県政情報の提供
知事記者会見やタウンミーティング、県政出前講座の実施　等

(2) ＤＸビジョンの推進

ＤＸによる先進的な取り組みへのチャレンジ促進
デジタルで効率化・高度化する行政運営の実現　等

(3) 私立学校の振興

教育環境の維持向上や保護者の経済的負担の軽減、学校経営の安定化に対する支援

(4) 公立大学法人の運営の支援

県立大学及び看護大学における教育の質の向上や法人運営のための運営費交付金の交付

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（危機管理部）

◎予算編成方針

・令和８年熊本地震や８月大雨被害など自然災害が激甚化・頻発化する中、令和６年能登半島地震の教訓等を踏まえ、多様な主体の参画と相互の連携のもと、自助・共助・公助による取組の実践や事前防災の推進により、地域防災力の強化を図る。
・将来にわたる消防力の維持・強化に向けて、それぞれの地域における現状と課題を踏まえ、市町と連携して取組を推進する。
・志賀原子力発電所の安全対策の徹底を図るとともに、原子力防災計画に基づき、原子力防災体制の強化を図る。

◎重点施策等

１　災害対応体制の強化

Ｒ９の取り組みの方向性

激甚化・頻発化する自然災害による被害を最小限とするため、令和６年能登半島地震の教訓等を踏まえ、ソフト・ハード両面から県の災害対応体制の強化を図る。

(1) 令和６年能登半島地震等を踏まえた災害対応力の強化

令和６年能登半島地震の教訓等を踏まえ、防災人材の育成や実践的な訓練の実施、実動機関との連携強化、県庁舎の災害対策本部室等の機能強化、避難生活環境の改善をはじめとした防災対策を推進するほか、白山火山防災対策を推進するなど、県の災害対応力の強化を図る。

(2) 市町の災害対応力強化への支援

総合防災情報システムや被災者生活再建支援システム、避難所管理システムの活用などを通じ、市町による迅速な災害対応等を支援する。

２　自助・共助による地域防災力の向上

Ｒ９の取り組みの方向性

県民の防災意識の向上に向けた普及啓発等により、県民一人一人による自助の取組の実践につなげるとともに、市町と連携して、防災士の育成及び活動の強化を図るほか、多様な主体との連携を強化することで、地域防災力の向上を図る。

(1) 県民一人一人による自助の取組の促進

災害による被害の軽減を図るため、様々な機会を通じた普及啓発等の取組により、県民一人一人の防災意識の向上を図り、自助の取組の実践を促進する。

(2) 自主防災組織や防災士の活動の充実強化

市町や大学等と連携し、共助の要となる防災士の育成を進めるとともに、災害時における防災士の組織的活動の強化を図る。

(3) 多様な主体との連携強化

災害時の多様なニーズに的確に対応できるよう、災害時応援協定の締結をはじめ、企業や団体など多様な主体との連携を深める。

3　消防力の維持・強化

Ｒ９の取り組みの方向性

市町の消防職員や消防団員の確保が喫緊の課題となる中、頻発する自然災害等に対応するため、災害の最前線を担う消防防災体制の充実強化を図るとともに、将来にわたる消防力の維持・強化に向けた検討を進める。

(1) 消防防災体制の充実強化

消防学校における教育訓練の充実、消防防災ヘリコプターの運航、市町の消防防災施設や資機材等の整備への支援などを通じ、消防防災体制の充実強化を図る。

(2) 将来にわたる消防力の維持・強化に向けた検討

消防職員の確保や消防団員の確保・負担軽減などについて、引き続き、有識者を交えた検討会を開催し、市町とともに具体的な対策を策定する。

(3) 質の高い救急医療体制の確保

救急相談専用ダイヤル「＃７１１９」の運用により、迅速な救急搬送と医療の質の確保を図る。

4　原子力安全・防災対策の推進

Ｒ９の取り組みの方向性

志賀原子力発電所の安全対策の徹底を図るほか、原子力防災計画に基づき、原子力防災体制の整備を図る。

(1) 原子力発電所の安全対策

志賀原子力発電所の環境への影響を評価するため、環境放射線の監視を行うとともに、原子力環境安全管理協議会の運営等を通じて安全対策の徹底を図る。

(2) 原子力防災体制の整備

原子力防災計画に基づき、３０ｋｍ圏内の市町等へ防災資機材等を計画的に整備するほか、避難経路の複線化も踏まえ、原子力防災訓練の実施などを通じ、原子力防災体制の整備を図る。

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（能登半島地震復旧・復興推進部）

◎予算編成方針

- 一日も早い令和６年能登半島地震、令和６年奥能登豪雨からの復旧と能登の創造的復興を実現するため、「石川県創造的復興プラン」を推進する。
- 能登半島地震、奥能登豪雨により被災された方の生活再建に向けた支援に取り組む。

◎重点施策等

１　創造的復興の推進

Ｒ９の取り組みの方向性

能登の創造的復興を成し遂げるため、石川県創造的復興プランの４つの施策の柱である、教訓を踏まえた災害に強い地域づくり、能登の特色ある生業の再建、暮らしとコミュニティの再建、誰もが安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくりについて、国や民間の力も活用しながら、全庁を挙げ推進する。

(1) 石川県創造的復興プランの推進

「中期」における取組を本格化させ、創造的復興をさらに推進するとともに、広く県民や全国へ能登の現状や復旧・復興の歩みを発信し、被災の記憶や教訓を風化させることなく後世に伝承する取組を進める。

(2) 地域の復興活動への支援

地域が抱えるノウハウやマンパワーの不足、資金確保といった様々な課題に対し、能登官民連携復興センターが地域団体に伴走し、全国の様々な支援を効果的につなげる。

(3) 令和６年能登半島地震復興基金と能登創造的復興支援交付金を活用した創造的復興の加速

県及び市町が実施する事業に「復興基金」と「交付金」を最大限活用し、地域の課題や実情に応じ、創意工夫により創造的復興を進める。

２　被災者の生活再建支援

Ｒ９の取り組みの方向性

災害救助法に基づく応急救助をはじめ、被災者生活再建支援制度や地域福祉推進支援臨時特例給付金による支援など、被災者の生活再建支援に取り組む。

(1) 災害救助法に基づく応急救助の実施

被災者の当面の住まいとなる建設型仮設住宅やみなし仮設住宅の提供、準半壊以上の被害を受けた住家への応急修理の支援などに取り組む。

(2) 恒久的な住まいの確保に向けた支援

県独自の被災者生活再建支援制度に基づく半壊世帯への支援や、地域福祉推進支援臨時特例給付金、能登創生住まい支援金などの各種支援制度により、被災者の支援に取り組む。

また、「生活再建支援アドバイザー」による伴走支援など、被災者に寄り添ったきめ細かなサポートを行う。

(3) 地域コミュニティの再建支援

地域住民同士が外に出て触れ合う機会を創出するイベント等により、仮設住宅や集落等における地域コミュニティの再建を後押しする。

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（企画振興部）

◎予算編成方針

・令和６年能登半島地震及び令和６年奥能登豪雨からの復旧・復興に向けた施策の推進に取り組む。
・人口減少対策として、移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大等に取り組む。
・北陸新幹線の建設促進に取り組む。
・小松空港、能登空港の航空ネットワークの維持・拡充に向けた利用促進に取り組む。
・持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実に取り組む。
・西部緑地公園の再整備に取り組む。

◎重点施策等

１　令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨への対応

Ｒ９の取り組みの方向性

能登の復旧・復興に向け、石川県創造的復興プランの「創造的復興リーディングプロジェクト」に位置付けた取り組みの推進を図る。

復興プロセスを活かした関係人口の拡大、能登サテライトキャンパス構想の推進、能登空港の拠点機能の強化、将来の能登の姿を見据えた地域公共交通の再構築

２　人口減少への対応

Ｒ９の取り組みの方向性

人口減少対策の重点施策として、移住・定住の更なる促進、関係人口の創出・拡大等に取り組む。

首都圏等に向けた本県の魅力や移住情報の発信強化、本県での移住体験機会の提供、受入体制の充実、関係人口ポータルサイトの更なる利用促進やいしかわサテライトキャンパスの推進による関係人口の創出・拡大等

３　北陸新幹線の建設促進

Ｒ９の取り組みの方向性

北陸新幹線の早期全線整備に取り組む。

沿線府県等と連携して政府・与党への要請活動を展開し、一日も早い大阪までの全線整備を推進

4　航空ネットワークの維持・拡充に向けた利用促進

Ｒ９の取り組みの方向性

小松空港については、新幹線敦賀延伸後の航空を取り巻く状況の変化を踏まえ、国内線・国際線の航空ネットワークの充実や利用促進、国際物流拠点化の推進、小松空港の機能強化・活性化などの取り組みを進める。

能登空港については、被災地の早期復興に向け、ポケモン・ウィズ・ユー財団と連携し、首都圏をはじめ全国からの誘客を図るとともに、地元からの利用促進に取り組む。

(1) 小松空港の日本海側の拠点空港としてのさらなる発展

①国内線の利用促進

ビジネス利用の確保や観光需要の喚起、福井県との連携による需要開拓、羽田乗継や長距離路線のＰＲ、能登空港や新幹線と連携した利用促進

②国際線の利用促進

台北・高雄・上海・ソウル・香港便の各路線の特長に応じた利用促進、新規路線の誘致に向けた取り組み

③国際物流拠点化の推進

小松空港の優位性のＰＲ、荷主等への助成による新たな貨物需要の開拓

④小松空港の機能強化・活性化

小松空港ターミナルビルの機能強化に係る基本設計に向けた具体的な検討

(2) 能登空港の交流拠点としてのさらなる活性化

①首都圏等からの利用促進

空港を核とした能登周遊の促進、能登への誘客に繋げる復興応援ツアーの造成、ＨＰやイベント出展等を通じたプロモーションの強化

②地元からの利用促進

ポケモンを活用した若年層に対するマイ空港意識の醸成など需要の掘り起こし、復興応援イベントの実施による賑わい創出

5　持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実

Ｒ９の取り組みの方向性

利用者目線に立った持続可能な地域公共交通の実現に向けて取り組む。

鉄道やバス路線等における事業者の安定的な経営と安全な運行の確保、担い手確保や利活用促進への支援

6　西部緑地公園の再整備

Ｒ９の取り組みの方向性

「スポーツとイベントの拠点」である西部緑地公園の再整備に向けた取り組みを進める。

県立野球場及び産業展示館を含む園内の再整備に向けた基本計画策定

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（文化観光スポーツ部）

◎予算編成方針

・能登の観光復興に向けた効果的な情報発信や観光需要喚起などに取り組むほか、文化・スポーツの力による暮らしとコミュニティの再建を図るなど、令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨からの復興の推進に取り組む。
・引き続き「ポスト国民文化祭」の取組を推進するほか、前田育徳会尊経閣文庫の魅力発信など、文化の裾野の拡大とさらなる高みを目指した取組を進める。
・北陸新幹線県内全線開業効果の持続・発展に向けた戦略的な情報発信・誘客など、県下全域の誘客拡大の取組を推進する。
・海外誘客のさらなる拡大に向け、国や地域に応じたプロモーションを推進するとともに、オーバーツーリズムの予防的対策により県民生活と観光客受入れの両立を図る。
・外国人と日本人がともに生き生きと安心して暮らせる社会づくりを推進する。
・県民の心身の健康増進や地域活性化など、スポーツを通じた活力の創造に取り組む。

◎重点施策等

１　令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨からの復興の推進

Ｒ９の取組の方向性

誘客の本格再開を見据えた「旅して応援、能登」などの情報発信や県独自の観光需要喚起策に取り組むほか、祭りの再開支援やスポーツイベントの開催など、文化・スポーツの力による暮らしとコミュニティの再建を図る。

(1) 観光産業の再建

・「旅して応援、能登」等の情報発信、観光需要喚起
・震災学習プログラムを活用した修学旅行の誘致等

(2) 暮らしとコミュニティの再建

・能登の祭りや文化団体の活動の再開支援
・地域活性化に向けたスポーツイベントの開催

２　本県ならではの個性と厚みのある文化の創造と発展

Ｒ９の取組の方向性

引き続き「ポスト国民文化祭」の取組を推進するとともに、前田育徳会尊経閣文庫の魅力発信に取り組む。

(1) 「ポスト国民文化祭」の取組の推進

・「いしかわ舞台芸術祭」や「いしかわ秋の芸術祭」等を通じた本県文化の深化や裾野の拡大、文化体験機会の創出

(2) 前田育徳会尊経閣文庫の魅力発信

・前田育徳会百周年記念特別展の開催等による価値や魅力の発信

3　選ばれ続ける観光地としてのブランド力強化

Ｒ９の取組の方向性

北陸新幹線県内全線開業効果の持続・発展に向けた誘客、多様化するニーズに対応した戦略的な情報発信や誘客キャンペーン、受け地の魅力づくりに取り組むとともに、小松空港・北陸新幹線などの充実した交通インフラを活用した海外誘客を推進する。

(1) 戦略的な情報発信・誘客キャンペーン

・デジタルマーケティングや県外観光案内所を活用した情報発信のほか、ＪＲと北陸三県が連携した誘客キャンペーンの実施など、北陸新幹線県内全線開業効果の持続・発展に向けた取組を展開

(2) 受け地の魅力づくり・環境整備

・本県の強みである多彩な文化資源を最大限活用した文化観光の推進
・多様化する旅行ニーズに対応した観光資源の発掘・磨き上げの促進
・ナショナルサイクルルートの魅力向上・プロモーションの推進
・オーバーツーリズムの予防的対策による県民生活と観光客受入れの両立

(3) インバウンドにおける誘客強化

・現地メディアへの情報発信等による小松空港国際定期便や北陸新幹線を活用した誘客の推進
・アジアからの誘客強化に向けた観光レップを活用した情報発信等

4　世界に開かれた国際化の推進

Ｒ９の取組の方向性

世界の各地域との多様な国際交流・国際協力を推進するとともに、日本語教育体制の整備や外国人住民に対する生活支援など、多文化共生を推進する。

(1) 国際交流と多文化共生の推進

・友好交流地域をはじめとした多様な国際交流の推進
・市町、国際交流団体と連携した地域日本語教育体制の充実や防災対応力強化等による多文化共生の推進

5　スポーツを通じた活力の創造

Ｒ９の取組の方向性

県民の心身の健康増進やスポーツを通じた地域活性化に向け、競技力のさらなる向上と、スポーツの裾野の拡大に取り組む。

(1) 競技力の向上

・アスリートの育成・強化、ジュニアアスリートの発掘・育成

(2) スポーツの裾野拡大と地域活性化

・県内トップスポーツチームと連携した競技体験・交流イベントの開催
・障害のある人がスポーツに親しむ機会の提供
・アーバンスポーツの普及・振興

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（健康福祉部）

◎予算編成方針

・被災した社会福祉施設等の復旧や仮設住宅等における被災者の見守り、こころのケアなどに取り組む。
・人口減少対策の重点施策として、結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた支援の充実・強化を図る。
・団塊ジュニア世代が高齢者になる２０４０年を見据え、健康寿命の延伸、要介護高齢者等への支援、介護・福祉人材の確保など、高齢化対策を積極的に展開する。
・医師不足地域等における医療従事者の確保・養成、周産期医療体制や救急医療体制の確保など、地域医療のさらなる充実を図る。
・障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会を目指すとともに、就労や文化芸術活動などを通じ、障害のある人の自立と社会参加を促進する。

◎重点施策等

１　令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨への対応

被災した社会福祉施設等の復旧や仮設住宅等における被災者の見守り、こころのケアなどに取り組むとともに、社会福祉施設の災害対応力の強化や、甚大な被害を受けた精育園の再建に取り組む。

２　安心してこどもを生み育てることができる環境の充実

Ｒ９の取り組みの方向性

次代を担うこどもが、健やかに生まれ、心豊かにたくましく育ち、自立した大人に成長するとともに、結婚や出産の希望がかない、安心してこどもを生み育てていけるよう、結婚、妊娠・出産、子育てといったライフステージに応じた切れ目のない支援の充実を図ることで、人口減少対策としての施策を強化する。

(1) 結婚に対する支援

結婚を希望する若者の希望をかなえ、安心して家庭を築くための支援を充実させるため、「あいきゅん」による出会いの機会の提供など、県・市町・企業が一丸となって結婚支援施策を推進する。

(2) 妊娠・出産に対する支援

出産の希望がかない、安心してこどもを生み育てるため、妊娠・出産に対する不安の解消や、母子の健康の確保・増進に向けた施策を推進する。

(3) 子育てに対する支援

子育て家庭が安心してこどもを育てることのできる環境を整備するため、保育料無料化等による経済的負担の軽減、こども医療費の助成拡充による市町の子育て支援等の充実、保育人材の確保や幼児教育・保育の質のさらなる向上、全ての子育て世帯を対象としたプレミアム・パスポート事業等による社会全体で子育てをする気運の醸成などの施策を推進する。

また、児童虐待の未然防止、早期発見・対応や、ヤングケアラーの支援に向けた取り組みを推進する。

(4) ライフプランの形成に対する支援

性や健康に関する正しい知識のもと将来を見据えた健康管理を行う「プレコンセプションケア」の推進に取り組むとともに、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を推進するため、従業員２１人以上の企業への一般事業主行動計画の義務化も踏まえ、企業における取り組みのさらなる充実に向けた施策を推進する。

3　生涯健康で安心して暮らせる社会づくり

Ｒ９の取り組みの方向性

全ての県民が生涯にわたり、健康で自立した生活ができる社会の実現を目指し、健康寿命の延伸、孤立や虐待の防止のための取り組みを進めるとともに、高齢化による介護ニーズの増加・多様化を見据え、地域包括ケアシステムや認知症対応の深化とともに、介護・福祉を支える人材の量と質の確保を推進する。

(1) 健康寿命のさらなる延伸に向けた取り組み

企業の健康経営に向けた取り組みの促進など、適正な食生活や運動の習慣化等による健康づくりを推進するための施策の充実を図る。

(2) 介護・福祉人材の確保

介護・福祉職の魅力発信、外国人介護人材の活用を含めた多様な人材の確保・定着支援、介護テクノロジーの導入などによる介護現場の生産性向上など人材の確保に向けた取り組みの充実を図る。

(3) 要介護高齢者等への支援

今年度改定する長寿社会プラン等に基づき、介護予防、要介護高齢者の支援、認知症施策などを推進する。

4　全ての県民への必要な医療の提供

医師不足地域等における医師・看護師の確保・養成、周産期医療体制や救急医療体制の確保、医療機関の機能分担と連携の強化など、地域医療提供体制の確保・充実を図るとともに、感染症対策やがん・難病対策を推進する。

また、奥能登地域の医療提供体制の確保について、今年度内に策定する基本構想を踏まえ、新病院の整備に向けた取り組みを推進するとともに、奥能登の妊産婦の負担や不安の軽減に向けた取り組みを進める。

5　障害のある人もない人も共に暮らしやすい地域づくりの推進

共生社会の実現に向け、正しい理解を深めるための普及啓発を行うとともに、就労支援、文化芸術活動などを通じ、障害のある人の自立と社会参加の促進に向けた取り組みの充実を図る。また、甚大な被害を受けた精育園の再建に取り組む（再掲）。

6　新たな社会福祉会館等の整備

社会福祉会館及び能登北部保健福祉センターについて、今年度行う実施設計を踏まえ、移転建て替えに向けた取り組みを進める。

7　人と動物が共生することができる社会の実現

ふるさと納税等を活用した寄附金を原資とする「いしかわ動物愛護基金」の活用などにより、動物愛護の推進に向けた取り組みの充実を図る。

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（生活環境部）

◎予算編成方針

- 令和６年能登半島地震及び令和６年奥能登豪雨からの復旧･復興に向けた施策を推進する。
- カーボンニュートラルの実現をはじめとした様々な環境にかかる課題に対応し、持続可能な循環型社会や、自然と人とが共生できる社会の構築を推進する。
- 女性の活躍推進など男女が共に活躍できる社会の実現に向けた取組や､ボランティアやＮＰＯの育成・活動支援など個性豊かな地域づくりを推進する。
- 県民総ぐるみによる交通安全活動や防犯まちづくり､犯罪被害者等支援､消費者施策の推進など、安心して快適に暮らせる地域づくりを推進する。

◎重点施策等

１　令和６年能登半島地震及び令和６年奥能登豪雨への対応

Ｒ９の取り組みの方向性

能登の復旧・復興に向け、石川県創造的復興プランのリーディングプロジェクトを推進するとともに、災害廃棄物の円滑な処理や被災施設の早期復旧に取り組む。

①　公費解体の促進等、災害廃棄物の円滑な処理に向けた市町への支援
②　トキの放鳥・定着に向けた取組の推進
③　「のとＳＤＧｓトレイル（仮称)」の創設に向けた取組の推進
④　再生可能エネルギーなどを活用した災害レジリエンスの強化
⑤　能登半島国定公園の被災施設の早期復旧

２　持続可能な循環型社会づくり

Ｒ９の取り組みの方向性

２０５０年カーボンニュートラルの実現に向け、本年７月に改定した「環境総合計画」に基づき、本県の特性を踏まえた施策を推進し、温室効果ガスの削減に取り組む。

また、循環型社会の形成に向け、３Ｒ（リデュース、リユース、リサイクル）を推進するとともに、水環境や大気環境など、生活環境の保全に取り組む。

(1) カーボンニュートラルの推進

①　カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成
②　温室効果ガスの排出割合が高い家庭部門や運輸部門における取組の推進
③　県庁グリーン化率先行動プランによる率先垂範

(2) ３Ｒの推進による循環型社会の形成

①　廃棄物の排出抑制やプラスチック資源循環の推進
②　産業廃棄物適正処理対策や海岸漂着物等対策の推進

(3) 豊かな水資源や良好な環境の将来世代への継承

① 水質環境基準等の監視調査の実施
② 大気環境の常時監視の実施

3 自然と人とが共生できる社会づくり

Ｒ９の取り組みの方向性

トキの放鳥とその後の定着に向けた環境整備や生物多様性の保全の推進、野生鳥獣の適切な保護管理、自然公園の保護と利用の促進などにより、自然と人との共生に向けた取組を推進する。

① トキと人との共生に向けた取組の推進
② ツキノワグマによる人身被害防止対策の推進や狩猟者の確保・育成
③ 自然公園の適切な保護・管理、利用の促進や白山の魅力向上・発信

4 男女が共に活躍できる社会の実現

Ｒ９取り組みの方向性

本年５月に策定した「いしかわ男女共同参画プラン２０２６」に基づき、女性の活躍推進や幅広い層への意識啓発に取り組むとともに、女性等に対する暴力の根絶や困難な問題を抱える女性に対する支援の充実に取り組む。

① あらゆる分野における女性の活躍推進や、性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に向けた意識啓発
② 女性等に対する暴力根絶に向けた意識啓発や、配偶者からの暴力被害者及び性暴力被害者に対する支援、困難な問題を抱える女性に対する支援

5 個性豊かな地域づくり

Ｒ９の取り組みの方向性

県民がボランティア活動に参加しやすい環境づくりや社会貢献活動を行うＮＰＯの運営支援を通じ、個性豊かな地域づくりを推進する。

① 災害ボランティア人材の育成・確保や、ＮＰＯの育成・活動支援
② ふるさと納税制度を活用した県の魅力発信

6 安心して快適に暮らせる地域づくり

Ｒ９の取り組みの方向性

飲酒運転根絶や自転車の安全な利活用などの交通安全対策を推進するほか、防犯まちづくりや犯罪被害者等支援の推進、消費者施策の推進に取り組む。

① 飲酒運転根絶や自転車の安全な利活用に向けた取組、世代に応じた交通安全対策など、県民総ぐるみによる交通安全活動の推進
② 防犯まちづくり意識の向上や、犯罪被害者等への支援の推進
③ 消費生活相談体制の整備や、被害未然防止のための消費者教育の推進

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（商工労働部）

◎予算編成方針

- 被災事業者のなりわい再建と地域産業の創造的復興に向け、本格復旧から経営再建まで切れ目なく支援するとともに、復興の進捗やフェーズの変化に応じて、需要開拓や高付加価値化、新たな事業展開など、将来を見据えた取組を後押しする。
- 産業振興指針に掲げる「新たな時代を捉えてともに飛躍・成長する、石川県の特徴を活かした魅力ある産業づくり」に向け、石川県地域産業クラスター計画に基づき、本県の強みを活かした産業集積と競争力強化を推進する。

◎重点施策等

１　令和６年能登半島地震・令和６年奥能登豪雨からの復興の推進

Ｒ９の取り組みの方向性

○ 能登事業者支援センターやＩＬＡＣ能登が関係機関と連携し、被災事業者の経営課題や事業段階に応じたプッシュ型の伴走支援を行うとともに、需要開拓や高付加価値化、人材確保など経営再建後の成長に向けた取組を支援する。

○ 酒蔵や伝統的工芸品をはじめとする能登の特色ある産業の復興と高付加価値化を後押しするとともに、宿泊施設の誘致や県外スタートアップの集積を促進し、交流人口の拡大、新たな産業の創出による地域経済の好循環の形成を促進する。

・なりわい再建支援補助金等による施設の本格復旧や需要開拓等への支援
・災害対策特別融資等による資金繰りの支援
・雇用維持に向けた在籍型出向の促進
・輪島塗「漆芸の聖地プロジェクト」の推進
・宿泊業に係る投資促進と食文化等の活用による付加価値の向上
・能登での事業展開が期待される県外スタートアップの誘致・定着支援　等

２　本県の特徴を活かした魅力ある産業づくりに向けた地域産業クラスターの形成

Ｒ９の取り組みの方向性

石川県地域産業クラスター計画に掲げる「ＡＩ・半導体」「防災・国土強靭化」「航空宇宙・部素材」「食文化・観光」の４重点分野において、研究開発や事業化、新規参入、人材確保の取組を促進し、成長産業の創出と競争力の高い産業集積の形成を図る。

＜ＡＩ・半導体分野＞
・フィジカルＡＩや生成ＡＩの導入・現場実装に向けた取組への支援
・産学官の共創を通じた研究開発及び人材育成・確保の促進　等

＜防災・国土強靭化分野＞
・復旧・復興の知見やＤＸを活かした、新たなインフラ関連産業の創出　等

＜航空宇宙・部素材分野＞
・次世代空モビリティ産業の育成・集積に向けた支援
・炭素繊維複合材料など高機能部素材の研究開発への支援　等

＜食文化・観光分野＞
・歴史・文化・食・自然を活かしたオーベルジュ等の面的な整備促進
・海外販路拡大に向けた伝統的工芸品の国際見本市の検討　等

＜スタートアップの創出・成長や起業促進に向けた環境づくり＞
・イノベーションの促進に向けた県内企業とスタートアップの共創の推進
・地域資源等を活用した魅力ある産業づくりに向けた起業環境の充実　等

＜地域経済の持続的な成長に向けた人材の確保＞
・学生やＵＩターン人材の県内就職促進と企業とのマッチング支援
・副業・兼業人材や外国人材の活用促進
・多様な働き方の実現を通じた労働力の掘り起こしと定着促進　等

＜産業集積に向けた基盤づくり＞
・新たな投資と高度人材を呼び込む産業集積拠点の形成　等

＜サプライチェーンを支える中小企業等の事業基盤の強化＞
・経営課題の高度化・複雑化に対応するための伴走支援の推進
・物価高など厳しい経営環境にある事業者への支援　等

３　金沢港・七尾港における取扱貨物やクルーズ船の寄港拡大

Ｒ９の取り組みの方向性

港の立地の優位性や特性を活かして、金沢港・七尾港の活性化を図るとともに、クルーズ船の誘致強化と受入体制の整備に取り組む。

・取扱貨物量の増加に向けた戦略的なポートセールスの推進
・金沢港の優位性を活かしたクルーズ船の誘致強化と受入体制の整備　等

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（農林水産部）

◎予算編成方針

能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興に必要な施策を切れ目なく実施し、能登の基幹産業の１つである農林水産業の生業再建を強力に支援する。

県の農林水産業が将来にわたり持続的に発展していけるよう、担い手の確保・育成やスマート農林水産業の普及等による生産性の向上、農林水産物のブランド化による収益力の向上などを図るとともに、農山漁村地域の維持及び振興に向け、各種施策を展開する。

◎重点施策等

１　令和６年能登半島地震及び令和６年奥能登豪雨からの復旧・復興

Ｒ９の取組の方向性

農林水産業施設の更なる復旧を進めるとともに、各地域での営農再開・継続に繋げるためハード・ソフトの両面から支援する。

(1) 災害復旧

農地・農業用施設、林道・治山施設、漁港などの復旧促進

(2) 農業の生業再建支援

農業機械や施設の修繕・再取得などに対する支援

(3) 集落の営農再開・継続支援

営農活動の再開・継続に向けた話合い・取組みなどへの支援

２　農業人材の育成・確保

Ｒ９の取組の方向性

農業者の急激な減少・高齢化への対策として、多様なルートからの人材確保・育成、農業者の持続的発展や産地維持に向けた経営継承の支援、スマート農業技術の活用等による省力化を図る取組を促進。

(1) 新規就農者等の確保・育成

いしかわ耕稼塾による多様な人材の確保･育成、農業法人等の新規参入の促進

(2) 農業経営を支える多様な雇用労働力の確保

外国人等の多様な人材の活用、人材確保・定着に向けたマネジメント力向上

(3) 中山間地域におけるスマート農業を活用した労力補完

スマート農業技術を活用する人材育成、導入促進、環境整備の促進

(4) 経営者等の計画的な経営継承の推進

経営継承に向けた研修等の実施、就農希望者とのマッチング

3　農業所得の向上

Ｒ９の取組の方向性

農畜産物の高付加価値化や輸出を含めた販路開拓による更なる需要の創造、農作業の効率化や高温対策等による生産量の確保、持続可能な農業に向けた環境負荷低減への取り組みを推進。

(1) 県産農畜産物のブランド力の強化

県内外への更なる価値浸透に向けた魅力発信や各種ＰＲイベントの開催

(2) 輸出を含めた新たな販路開拓

海外バイヤーを活用したマーケティングやプロモーション活動の実施

(3) 農地の集積・集約化による生産基盤の強化

農地の大区画化や農道・用排水路の整備、地域計画に基づく担い手への集積

(4) 高温対策など農畜産物の収益性の向上

米や園芸作物の高温対策技術の導入、多収性の牧草品種への切り替え促進

(5) 畜産業の生産体制の強化

能登牛など畜産物の生産拡大に向けた担い手の確保や施設の整備、家畜伝染病の発生予防や防疫体制の強化

(6) 堆肥の品質向上及び堆肥・飼料の生産・利用拡大

需要に応じた高品質堆肥の生産を推進し、耕種農家との連携した利用促進

4　農村の持続的発展

Ｒ９の取組の方向性

地域内外からの人材やボランティア等の関係人口の確保、地域の活動を支え合う取り組みへの支援、農業水利施設の強靭化等による農村コミュニティの維持・強化を図る。

(1) 里山里海地域の振興

いしかわ里山みらいファンドによる地域資源を活用した新商品・新サービスの開発や関係人口の創出、トキの放鳥を契機とした能登産米のブランド化の推進

(2) 防災・減災に向けた農村の強靭化

農業水利施設の耐震対策や災害に強いため池の整備や計画的な保全管理

5　県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化

Ｒ９の取組の方向性

県産材の安定的な供給体制の整備などにより、人工林資源の積極的な利活用を進めるとともに、県産材の利用促進や林業従事者の確保・育成に取り組む。

(1) 県産材の安定供給体制の構築

高性能林業機械やドローンの導入による主伐・再造林等の森林整備の推進

(2) 林業におけるＤＸ・ＧＸの推進

スマート林業の推進、Ｊ-クレジット制度の活用

(3) 県産材の利用促進

県産材の安定供給及び住宅・民間施設等における利用促進

(4) 林業従事者の確保・育成、定着の促進

あすなろ塾による新規就業者の確保・育成

6　持続性のある水産業の実現

Ｒ９の取組の方向性

水産資源の適切な管理による安定供給、県産水産物のブランド化のさらなる推進を図るとともに、漁業従事者を確保・育成し、持続性のある水産業の実現を図る。

(1) 水産資源の適切な管理による安定供給

資源管理の徹底や養殖による水産資源の維持増大、スマート水産業（ＤＸ）による操業や流通の効率化

(2) 県産水産物のブランド化のさらなる推進

飲食店等と連携した県産水産物の地元消費拡大

(3) 漁業従事者の確保・育成、定着の促進

わかしお塾による就業希望者に対する体験機会の提供

7　災害に負けない強靭な県土づくり

Ｒ９の取組の方向性

激甚化・頻発化する自然災害に備え、流域治水の推進などの対策強化を図る。

(1) 気候変動の影響等を踏まえた流域治水の推進

農業水利施設の整備、治山対策、漁港整備の促進

(2) いしかわ森林環境税等による森づくりの推進

里山林における緩衝帯の整備や放置竹林の除去など

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（競馬事業局）

◎予算編成方針

金沢競馬については、ナイター競走の拡大や本年１１月のＪＢＣ競走の実施により、売上は堅調に推移している。来年度においても、安全と公正の確保を大前提に競馬を実施するとともに、金沢競馬の魅力向上と情報発信に取り組み、更なる売得額の向上と新規ファンの獲得に努める。また、必要な施設整備を着実に進めるとともに、経費の節減等により収益性を高め、経営基盤の安定と持続可能な発展を目指す。

◎重点施策等

Ｒ９の取組の方向性

創意と工夫を凝らした競馬を実施するとともに、魅力づくりや魅力発信を図り、更なる売得額の向上と 新規ファンの獲得に努めるとともに、きゅう舎の建替えをはじめとした施設整備を着実に進める。

１　金沢競馬の魅力向上

ファンに喜ばれるナイター競走や、他の競馬場の騎手や競走馬が参加する交流競走の実施のほか、趣向を凝らした場内イベントの実施等により金沢競馬の魅力向上を図り、新規ファンを獲得し来場を促進することで、自場売得額の確保に努める。

２　インターネット投票の販売促進

ＳＮＳによる情報発信の充実や、著名人によるレース予想等のライブ配信等により、インターネットによる勝馬投票券の販売を促進し、売得額の増加を図る。

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（土木部）

◎予算編成方針

- 令和６年能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興を進める。
- 近年、激甚化・頻発化する自然災害を踏まえ、県民生活の安全・安心の確保を図るため、防災・減災基盤の充実・強化に取り組む。
- 人やものの交流の拡大に資する道路網や港湾などの広域交流基盤の整備を進めるほか、金沢城公園をはじめとした観光誘客に向けた県土の魅力づくりを推進する。

◎重点施策等

１　令和６年能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興及び教訓を踏まえた災害に負けない強靱な県土づくり

Ｒ９の取り組みの方向性

能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興について、国の支援も得つつ、公共土木施設等の早期復旧に向け全力で取り組む。

また、激甚化・頻発化する自然災害を踏まえ、「流域治水」の考え方に基づくハード・ソフト両面での対策を県下全域で推進するとともに、緊急輸送道路の防災対策や県水送水管の耐震化、公共土木施設の適切な維持管理による長寿命化対策、生活道路の安全対策、住宅の耐震化、復興公営住宅の整備に取り組む。

(1) 公共土木施設等の早期復旧

能登半島地震・奥能登豪雨により甚大な被害を受けた、道路、河川、港湾などの公共土木施設等の早期復旧

(2) 気候変動の影響等を踏まえた流域治水の推進

① 抜本的な対策である河川改修

若山川、河原田川、犀川、西川、動橋川など県下全域での河川改修の推進

② 大雨災害を踏まえた河川の改良復旧

被災した河川における復旧工事と一体となった改良工事

③ 即効性のある災害予防対策

河川の堆積土砂の除去、堤防の強化

④ 避難態勢の強化支援

洪水ハザードマップの周知、水位計・河川監視カメラの設置など

⑤ 砂防関係施設の整備

(3) 緊急輸送道路の防災対策の推進

橋梁耐震補強、落石対策、無電柱化の整備など

(4) 県水送水管の耐震化（２系統化）の推進

耐震性に優れた送水管の敷設

(5) 公共土木施設の適切な維持管理の推進

橋梁やトンネル、河川管理施設、下水道等の長寿命化対策

(6) 安全・安心な交通環境の確保

身近な生活道路における舗装補修、通学路の安全対策、凍結防止剤自動散布システム

(7) 住宅の耐震化の促進

耐震診断、耐震改修の支援

(8) 復興公営住宅の整備

家賃無償化に伴い増加した復興公営住宅の整備

2　人やものの交流の拡大に資する交流基盤の整備

Ｒ９の取り組みの方向性

人やものの交流を一層盛んにしていくため、県土を隈なく網羅する幹線道路網の形成や港湾機能の充実強化に取り組む。

本県が誇る優れた歴史的景観や自然景観の活用・創出を図るため、都市公園の整備や観光地の無電柱化など県土の魅力づくりに努める。

(1) 広域交流ネットワーク道路の整備

① 県内各地の時間距離の短縮

能越自動車道（輪島道路、田鶴浜七尾道路)、のと里山海道（柳田 IC～徳田大津 JCT)、国道８号（松任拡幅、小松バイパス）など

② 陸・海・空の交流拠点との連携強化

金沢外環状道路海側幹線、金沢東部環状道路、加賀海浜産業道路など

③ 県際道路の整備

国道 415 号、国道８号（倶利伽羅防災、牛ノ谷道路）など

④ 市街地交通の円滑化

泉野々市線・西金沢駅通り線など

(2) 港湾機能の充実による交流促進

金沢港、七尾港など

(3) 都市公園の整備

金沢城公園、木場潟公園、能登歴史公園など

(4) 観光資源を活かした県土の魅力向上

いしかわ里山里海サイクリングルートの環境整備、千里浜再生プロジェクトの推進、兼六園・金沢城公園の文化的価値の保全・魅力向上に向けた検討

(5) 無電柱化を核とした街なみ景観の魅力向上

金沢市寺町地区、加賀市山中温泉本町地区など

3　建設業の経営基盤強化

担い手確保に向けた幅広い年代への入職ＰＲ、働き方改革に向けたセミナーの開催など

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（警察本部）

◎予算編成方針

・県内の刑法犯認知件数は、平成１５年のピーク時と比べ３分の１程度まで減少しているものの、匿名・流動型犯罪グループが特殊詐欺、組織的窃盗・盗品流通事犯等を敢行するなど、治安対策上の脅威となっている。また、サイバー事案も後を絶たず、交通事故による死者数も下げ止まりの状態となっている。加えて、被災地の治安情勢も依然として予断を許さない状況にある。
・県警察では、治安情勢の変化を踏まえて、組織運営の最適化を図るとともに、直面する治安課題に的確に対処し、「安全で安心して暮らせる石川の実現」に取り組む。

◎重点施策等

１　被災地における復旧・復興を支えるための治安対策の推進

R9の取り組みの方向性

パトロール活動等による犯罪抑止対策や迅速･的確な初動捜査活動、きめ細かな交通安全活動など、被災地の復旧･復興を支えるための治安対策を一層推進する。

○　きめ細かなパトロール活動等の推進、復旧状況に合わせた交通安全施設の整備

２　県民の生活の安全と平穏の確保に向けた犯罪抑止対策等の推進

R9の取り組みの方向性

特殊詐欺をはじめとする犯罪から県民を守り、犯行に加担させないことに加え、少年の非行防止や保護対策、女性の安全確保や高齢者の犯罪被害防止に向けた取組などを推進する。

○　地域の犯罪情勢に即した街頭活動、特殊詐欺被害防止対策の推進

３　サイバー空間における脅威への対処

R9の取り組みの方向性

捜査支援体制の充実などにより、安全で安心なサイバー空間の確保に向け、警察組織の総合力を発揮した効果的な対策を推進する。

○　人的・物的基盤の強化、大学・民間企業等と連携した被害防止対策の推進

4　県民の生活の安全を脅かす犯罪の徹底検挙

R9の取り組みの方向性

初動捜査における迅速・的確な客観証拠の収集、科学技術や捜査支援分析体制の活用などにより、警察組織全体の検挙力及び事態対処能力を強化する。

○　重要犯罪、重要窃盗等の徹底検挙、検挙力の強化

5　交通死亡事故等の抑止と実態に即した交通環境の整備

R9の取り組みの方向性

自治体、関係機関・団体等と連携した交通安全教育や交通安全活動、悪質・危険な運転に対する取締りの強化、交通実態に即した交通安全施設の整備等を推進する。

○　交通安全教育及び交通安全活動の推進、交通事故抑止に資する交通指導取締りの推進、重点的、効果的かつ効率的な交通安全施設等の整備

6　大規模災害への的確な対処と情勢に即した警備諸対策の推進

R9の取り組みの方向性

いかなる大規模災害にも的確に対処するため、災害対処能力の一層の向上を図るほか、国際情勢等に即した警備諸対策を推進する。

○　初動態勢の確立及び対処能力の向上、警備諸対策の推進

7　犯罪被害者等支援の充実

R9の取り組みの方向性

犯罪被害者等に寄り添ったきめ細かな支援、途切れない支援の提供体制の活性化等、各種施策を総合的かつ計画的に推進する。

○　個々の事情に応じた適切な支援、途切れない支援の提供と県民の理解の増進

8　警察力の充実強化と県民の立場に立った警察活動の推進

R9の取り組みの方向性

警察組織の基盤を整備し、県民の立場に立った警察活動を一層推進する。

○　適性と意欲を有する多様な人材の確保、警察施設・装備資機材の計画的整備

令和９年度予算編成方針及び重点施策等（教育委員会）

◎予算編成方針

・本県教育の総合的な指針である「第４期 石川の教育振興基本計画」の基本理念「未来を切り拓く心豊かな人づくり」の実現に向け、学校教育の質の充実を図るとともに、令和６年能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧復興に向けた創造的復興教育、生涯学習の推進、文化財の保存・活用など必要な諸施策に取り組む。

◎重点施策等

１　災害からの復旧復興に向けた創造的復興教育

Ｒ９の取り組みの方向性

復旧だけでなく、災害前から地域にあった課題も乗り越え、持続可能な地域社会を創出できる人材の育成を目指す「創造的復興教育」に取り組み、ふるさとに誇りを持った、復興を担う人材の育成を図る。

(1) 災害の教訓を生かした創造的復興教育の推進

奥能登５校での地域を越えた交流活動、能登でのフィールドワークを通じた防災教育、復興探究コーディネーターの配置など

(2) 被災地の教育環境の整備・充実

県立学校の校舎等復旧工事、遠隔授業などＩＣＴを活用した学習環境の整備、漆芸研修所の寄宿舎の整備、被災文化財の保存など

(3) 被災した児童生徒等の心のケアの充実

スクールカウンセラーの派遣、教職員の心のケアなど

２　いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成

Ｒ９の取り組みの方向性

石川の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を持って、石川の魅力を広く伝えることができる力を養うとともに、地元の企業や大学等と連携した取組を通して、新たな価値を創造する力やチャレンジ精神、グローバル化に対応できる力を身につけ、地域産業をはじめとする社会の様々な分野を牽引し、地域の活性化に貢献できる人材の育成を図る。

(1) ふるさと石川に対する誇りと愛着の醸成

石川ゆかりの偉人、先人や石川の文化や歴史・産業などを通した教育の推進

(2) 地域の活性化に貢献できる人材の育成

実社会での課題解決に向けた探究型学習教育の推進など

３　確かな学力や専門的な能力、職業実践力の育成

Ｒ９の取り組みの方向性

思考力・判断力・表現力や、主体的に解決する力を含めた確かな学力を身に付けられるようにするとともに、教育ＤＸの推進による学びの質の向上を図るほか、キャリア教育や時代のニーズに応じた職業教育の充実などを図る。

(1) 確かな学力の育成
金沢大学と連携した「学力向上プログラム」の推進など
(2) 高等学校教育改革の推進
県立高校の教育改革を先導する拠点校の新学科開設に向けたカリキュラム開発や施設・設備整備など
(3) 教育ＤＸ、ＧＩＧＡスクール構想の推進による学びの質の向上
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や情報活用能力の育成など
(4) キャリア教育・職業教育の充実
地域や企業、大学等との連携・交流を通じた実践的な学習活動の実施など

4　豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくり
(1) 心の教育・道徳教育の充実
いしかわ版道徳教材を活用した道徳教育の充実など
(2) いじめ防止等の取組の充実
いじめを見逃さない学校づくりやインターネット等の適正利用の推進など
(3) 体験活動の充実
自然体験活動等による豊かな人間性・社会性等の育成
(4) 児童生徒の体力・運動能力の向上、学校保健の充実・食育の推進
体力アップ１校１プランの推進、部活動の地域展開に向けた支援、学校における食育の推進など
(5) 2027 いしかわ総文（R9 年夏）を通した高校生の芸術文化活動の充実

5　誰一人取り残されない多様な教育ニーズへの対応
(1) 不登校児童生徒への支援の充実
スクールカウンセラーや校内教育支援センター専任教員の配置など
(2) 特別支援教育の充実とインクルーシブ教育の推進
児童・生徒の安全確保、一人ひとりのニーズに応じた教育の充実、障害のある子どもとない子どもが共に活動し共に学び合う交流の推進など
(3) 多様なニーズに応える学校づくりの推進
教育の機会の確保に向けた夜間中学校、定時制・通信制高校の充実など

6　信頼される質の高い学校づくりの推進、地域の教育力の向上
(1) キャリアステージに応じた「いしかわ型教員研修体制」の充実
若手教員早期育成プログラム、中堅教員の教科指導力強化の講座の実施など
(2) 学校における働き方改革の推進
「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づく取組の実施
(3) 教育環境の整備・充実
県立学校体育館への空調設備の計画的な整備、学校施設の老朽化対策や多様化する教育内容、学習形態に対応した学習環境の整備など
(4) 学校・家庭・地域が一体となって取り組む社会全体の教育力の向上
親学び講座の開催支援、地域と学校の連携・協働体制構築への支援など

7　生涯にわたり学び続ける環境づくりの推進
県民の学習ニーズに対応した県民大学校講座の開催など

8　文化財の保存・活用
石垣の構築技術など金沢城の調査研究の推進、文化財の保存修理への支援など